

### ■復興を理由に改革を遅らせてはならない！



(群馬県・五徳山 水澤観世音：平成23年3月撮影)

暑中お見舞い申し上げます

3月11日に発生しました東日本大震災で被災された皆さま、そのご家族の方々に對しまして、心よりお見舞い申し上げます。

今回の大震災では、幸いなことに私の家族・親類には、深刻な被害を受けることはありませんでしたが、都心での被災したこともあり、帰宅難民になりかけました。家族との連絡をうまくとりながら、なんとか難を逃れることができ、家族の有り難さと、不安な中、一緒にいることで安心感を得られるなど、家族の大切さを再認識しました。それと同時に、政府の対応を見ていると、日本の将来への不安感が一層増しました。

東日本大震災の復興の実施体制などを定める復興基本法案が、震災からおよそ100日経過した6月30日ようやく成立しました。法案成立までの、内閣不信任案の採決問題や復興担当大臣の辞任など、政治の世界でのドタバタ劇を見るたびに、「もっと他にやることは

あるでしょう！」と腹立たしく思うのは、私だけではないでしょう。

最近のいろいろな論調を見ていると、「選挙に勝つためには…」という、議論が中心になっていて、この国の未来のかじ取りを誤ってしまうのではないかと危惧しています。例えば、TPP(環太平洋経済協定)にしても、震災復興を理由に結論が先送りされました。震災地の農業に配慮するという意見があり、それも確かに大切なことです。けれども、日本の産業全体含めてこの国をどうしていくかは、緊急に解決すべき重要課題であるはずですよ。

私たちの生活に関連しては、「社会保障・税の一体改革」が進められています。とりまとめは、何とか当初予定の6月に間に合いましたが、その内容は、以前から議論されていたことの繰り返しであったり、消費税アップのスケジュールについても明確に示されたものではありません。その背景には、震災復興を表の理由にして、その裏には、選挙対策という意図が見え隠れしています。

私たち生活者が、日本で安心して暮らし、幸せなライフプランを実現していくためには、世界情勢の変化と日本への影響、日本の社会保障制度など、さまざまな影響を受けます。私たちLFCは、お客様の幸せなライフプランを実現するために、広い視野で世の中を見つめて参ります。そして、お客様に役立つ情報を提供していきたいと思ひます。

FPオフィス Life & Financial Clinic  
ファイナンシャル・プランナー  
平野 泰嗣 平野 直子

#### ◆お届けする内容◆

- ・震災復興を理由に 1  
改革を遅らせてはならない！
- ・震災後、日本人の 2  
価値観はどう変わった？
- ・東日本大震災による投資環境へのインパクトは限定的!?～震災後の投資環境
- ・私たちの未来の生活は安心？ 社会保障と税の一体改革の行方は？
- ・リスクマネジメント 3  
＝保険ではない!?  
本当のリスクマネジメント
- ・個人年金保険の加入は2011年中がお得!!
- ・2011年前半のLFC 4  
の活動報告

### ■震災後、日本人の価値観はどう変わった？

東日本大震災は、一瞬にして多くの人命と財産を奪う衝撃的な出来事でした。震災を目の当たりにして、自分と家族の生活や人生を見直す機会になった方も多いのではないでしょうか。アクサ生命が実施した『震災後に「見直したもの」実態調査』(6/27公表)によると、震災後、多くの人が将来に不安を感じる一方で、自分の足元の価値を「見直す」、堅実で力強い姿が浮き

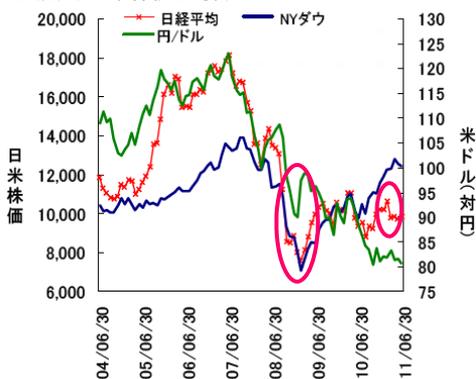
彫りとなりました。  
●自分頼みの傾向へ  
震災後、「この国の行く末に不安を感じた」(80.4%)、「自分や家族の将来について不安を感じた」(70.6%)。8割前後の生活者が将来に不安を感じているという結果に。そうした中、「自分のことは自分で守らなければならない意識が増した」(80.1%)など、誰かの助けを期待するのではなく、「自分は自

分で守るしかない」という“自分頼み”の生き方が顕著になりました。  
●改めて見直される「人生観」  
「健康であること、健康を維持することが大切だと思ふようになった」(75.9%)、「生や死の意味について考えることが増えた」(67.4%)、「人のつながりの大切さを認識するようになった」(67.4%) など、「人生観」にも変化が見られました。  
皆様の場合、いかがでしょうか？



# 東日本大震災による投資環境へのインパクトは限定的!?

●(図1)日米株価と為替



## ■震災後の投資環境は？

東日本大震災から4カ月が経過しました。震災によって、日経平均株価が大きく下がるなど、一時的な混乱は見られたものの、株式市場、金融市場という視点で見ると、震災による影響は、それほど大きくなかったと言えるでしょう。3月11日の金曜日に震災が起り、翌週の月曜日には、投資運用会社、証券会社など各社で震災による影響についてコメントを出しましたが、極めて冷静なものでした。まず、日本のソブリン債(政府債、政府保証債など)に対する見方としては、震災のショックによって日本の財政危機が切迫したものになることはなく、震災によって赤字幅が増大したとしても、国内政府債務市場からの調達はやさしく判断されました。震災による被害は、甚大なものですが、現在の財政赤字(平成23年度は44.3兆円)を考慮すれば、その影響は少ないと考えられたのでした。

株式市場という視点では、日本の大企業や金融機関の多くは、日本国内全国に、あるいは海外にも広く分散しており、地震の影響は限定的という冷静な見方でした。震災後、一

時は、日本から海外への部品の供給などサプライチェーンに影響が出ると報道されましたが、それも想定範囲内ということですから、実際に、株価チャートを見ても、2008年のリーマンショックのインパクトの方がはるかに大きかった、と言えるでしょう。

国内の株式市場に目を奪われがちですが、最近気になるのは、欧州での債務不安です。昨年(2010年)、ギリシャ危機発生以来、南欧各国のソブリン債に信用不安が起っています。財政難が最大の理由ですが、ギリシャ、アイルランド、ポルトガルと続き、最近では、スペイン、ポルトガルの動向が注目されています。危機を迎えた3カ国とも、10年物の国債利回りが、7%超の定着後に金融支援要請に踏み切っていることから、同水準を警戒点とする見方があります。欧州の信用不安が高まれば、金融市場も混乱し、円高が一層進むことになりかねません。投資ということを考えると、日本国内の復興を願いつつ、やはり、世界の情勢に目を向ける必要があります。

●(図2)南欧諸国等の10年物国債利回りの推移



# 私たちの未来の生活は安心？ 社会保障と税の一体改革の行方は？

## ■新しい年金制度の創設で、最低84万円が保障される!?

現在の社会保障制度は、社会経済情勢の大きな変化があったにもかかわらず、抜本的な制度改革は行われてきませんでした。小手先だけの修正が繰り返され、かえって複雑で分かりにくいものになっています。また、社会保障制度を支える財源不足も深刻です。国民の自立を支え、安心して生活ができる社会基盤を整備する社会保障の機能復元と強化を目的として、社会保障と税の一体改革が検討されてきました。7月1日には、「社会保障・税一体改革成案」が閣議報告されました。私たちの将来の生活に大きな影響を及ぼす社会保障と税制の方向性を示すもので、無関心ではられません。そこで、今回は成案のポイントを年金と税制に絞り、紹介します。

### 【年金制度改革】

#### ◆新しい年金制度の創設

「所得比例年金」と「最低保障年金」の組み合わせからなる一つの公的年金制度にすべての人が加入する。

#### ●所得比例年金の特徴

- ・所得が同じなら同じ保険料、同じ給付。
- ・保険料は15%程度(現行約16%)
- ・納付した保険料を記録的に積み上げ、仮想の利回りを付し、その合計額を年金支給開始時の平均余命などで割って、毎年の年金額を算出。

#### ●最低保障年金の特徴

- ・最低保障年金の満額84万円(現行約80万円)
- ・生涯平均年収ベースで、一定の収入レベルまで全額を給付し、それを超えた点より徐々に減額を行い、ある収入レベルでゼロとする。

新しい年金制度では、全ての受給者が、所得比例年金と最低保障年金の合計で、概ね7万円以上の年金を受給できるというものです。

#### ◆現行制度の改善

- ・最低保障機能の強化(低所得者への加算、障害基礎年金への加算、受給資格期間の短縮)
- ・高所得者の年金給付の見直し(年収1,000万円以上から減額開始)
- ・短時間労働者に対する厚生年金の適用拡大
- ・第3号被保険者制度(専業主婦など)の見直し
- ・在職老齢年金の見直し(60歳前半の調整額を大きくする)
- ・支給開始年齢引き上げ(現行の65歳を68~70歳へのさらなる引き上げを検討。)

### 【税制改正】

#### ◆個人課税

- ・格差の是正と所得再配分機能の回復のため、所得控除の見直しや税率構造改革を行う。

#### ◆法人課税

- ・国際競争力確保のため、大企業、中小企業共

に引き下げ。

#### ◆消費課税

- ・2010年代半ばまでに段階的に消費税を10%まで引き上げ、当面の社会保障制度改革にかかる安定財源とする。

年金制度改革における、現行制度の改善は2012年以降に速やかに法案化するとされ、新しい年金制度は、「国民的な合意を得て実現に取り組む」とされ、時期については明示されていない点が気になります。税制改革は、個人課税は、一言でいえば、高所得者の負担増加(どこまでが高所得者になるかはわかりませんが…)。消費税については、「当面の～」とあり、消費税10%というのは、まだ序の口といった感じでしょう。

今回の社会保障改革の基本的な考え方として、「中規模・高機能な社会保障の実現を目指す」とありますが、投資でいうと、ミドルリスク・ハイリターンを謳っているようで、肩つば物に感じられます。制度改革を行うにしても、日本は現行制度の大きな負債を背負っているため、「中機能・中負担」なら良いのですが、「中機能・高負担」にならざるを得ないのではないのでしょうか。

いずれにせよ、私たち生活者にとって、わかりやすい制度であること、安心して暮らせる制度であることが望ましいです。

# リスクマネジメント=保険ではない!? 人生を豊かにするリスクマネジメント



## ■ 家庭で行う、生活リスクマネジメント

東日本震災以降、日常生活におけるリスクに備えて保険の見直しを希望される方が増えています。

人生全て思い通りに事が運ばば、それは確かに素晴らしいことです。けれども、私たちが生活していく中で様々なリスクに遭遇します。そのリスクを上手にコントロールして、望む人生を実現に近づけていくことが大切です。そこで、生活におけるリスクマネジメントの考え方について、紹介します。

リスクへの対処の方法で、最初にイメージするのは、保険かもしれません。けれども、保険に入ることは、発生したリスクを金銭面で対処する方法なので、リスクの対処方法としては、最終的な手段とも言えます。

生活リスクマネジメントとは、生活リスクに対して人事を尽くして、安心して暮らすことができる状態を作ることです。具体的には、①リスクコントロール、②クライシスマネジメント、③リスクファイナンスの3つです(左図:中)。

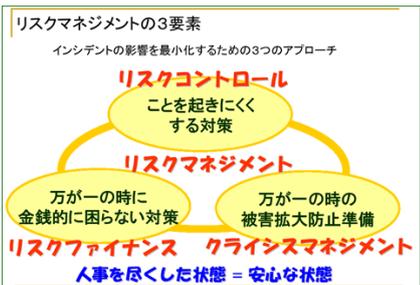
例えば、病気になって入院するリスクについて考えてみると、①のリスクコントロールは、普段から健康に気を付け、丈夫な体を作ること、人間ドックを定期的に受診し、病気の早期発見に努めることが考えられます。②のクライシスマネジメントでは、自宅に急に具合が悪くなって倒れてしまった場合に、適切

な応急処置ができるようなトレーニングを積んでおくことや、慌てないですぐに救急車を呼ぶ心構えを持つことなどが考えられます。そして最後の③のリスクファイナンスでは、病気になった時に想定される経済的影響に対して、金銭的に困らないように、医療保険に加入する、十分な貯蓄をするなどが考えられます。

保険の加入を検討する場合は、経済的影響額を試算した上で、公的保障、会社の福利厚生制度などを考慮した上で、必要保障額を求めることが大切です(左図:下)。

消費者はもちろん、FPの中にも、私たち家庭で行うリスクマネジメントという、リスクファイナンス(保険)に終始してしまい、なかなかそこから抜け切ることができない場合が多いのです。けれども、何が起こるかかわからない世の中で、私たちが、希望するライフプランの実現に、より近づけていくためには、リスクマネジメントの3要素の視点が重要です。保険に加入することで、リスクが発生した際に保険金が支払われ、生活は金銭的に保障(補償)されますが、リスクが発生する前と全く同じ状態に戻るとは限りません。

私たちLFCでは、リスクマネジメントの3要素を意識したプランニング、アドバイスを心掛けています。



## 個人年金保険の加入は、平成23年中がお得？

### ■ 生命保険料控除制度の改正

お客様からのご相談の中で、老後の生活資金を少しでも有利に運用したい、というご希望をよく頂きます。「老後まで比較的期間があるので、長期分散投資など、投資にシフトしてみても……」と言われても、なかなか投資には踏み切れないのが正直なところでしょう。

銀行の定期預金で貯めていこうと言っても、メガバンクの1年定期預金の金利は0.03%(7月6日現在)です。安定して少しでも有利に老後に備えたい場合、改めて見直したいのが個人年金保険です。

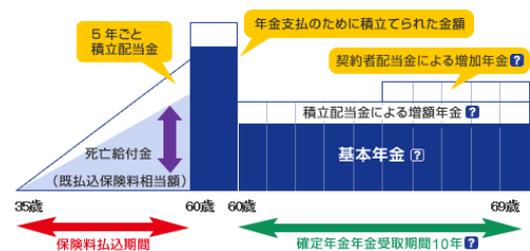
例えば、35歳から60歳まで、毎月1万円の保険料を支払うと、60歳から10年間で約344万円

を年金として受け取ることができます。保険料300万円に対し、年金合計が344万円なので戻り率は114.6%で、利回り換算すると約0.76%になります。これを低いと見るか高いと見るかは価値観によるでしょう。

個人年金に加入するメリットとして、見落とせないのが個人年金保険料控除を受けられるということです。個人年金保険料控除は、所得控除として所得税上限5万円、住民税上限3.5万円を受けることができます。所得税率は収入によって変わりますが、所得税率が20%の人の場合、所得税1万円、住民税3,500円(住民税率は一律10%)、合計

1万3,500円税金が安くなります。先の事例で年間保険料12万円に対する利回りに換算すると、実に11.25%になります。この恩恵を保険料の払い込み期間中受けられることを考えると、個人年金保険の実力を改めて見直す必要があります。

ところで、個人年金保険料控除を含め、生命保険料控除制度は、平成24年1月から改正される見込みです。介護医療保険料控除の新設に伴い、個人年金保険料控除の所得控除限度が所得税4万円、住民税2.8万円になります。平成23年以前契約については、現行制度と同様の控除を適用するとされていますので、個人年金に加入するなら、今年中がお得と言えるかもしれません。



総受取基本年金額 3,439,900円
総払込保険料 3,000,000円
戻り率 114.6%

現行制度		新制度(平成24年適用開始)		
生命保険料控除	個人年金保険料控除	一般生命保険料控除	介護医療保険料控除	個人年金保険料控除
遺族保障	老後保障	遺族保障	介護保障	老後保障
介護保障			医療保障	
医療保障				
[所得控除限度額] 所得税:10万円・地方税:7万円		[所得控除限度額] 所得税:12万円・地方税:7万円		
所得税:5万円 地方税:3.5万円	所得税:5万円 地方税:3.5万円	所得税:4万円 地方税:2.8万円	所得税:4万円 地方税:2.8万円	所得税:4万円 地方税:2.8万円

※平成23年以前契約については、現行制度と同様の控除を適用。

# LFCがNHK教育「資格☆はばたく」で紹介されました！



Can Cam・8月号  
「これで節電！避暑検定」



ニッキンマネー・7月号  
「震災に負けない預金・保険・共済」



3月 資格☆はばたく(NHK教育)



7月 レゴラスがウチに来て、1年が経ちました♪



3月 伊香保温泉石段街にて



4月 Restaurant 27にて誕生会

## ■ 2011年前半のLFCの活動報告

2011年前半は、3月の大震災という非常にショッキングな出来事がありました。幸い、私たちのお客さまの中には、直接的に被害に遭われた方はいらっしゃいませんでしたが、猛暑に向けての節電対策など、仕事面、家庭面での影響は避けられません。

### ●LFCの被災地支援活動

本来であれば、被災地へ赴き、生活者支援などの活動を行いたいのですが、仕事柄、なかなかまとまった時間を確保することができません。そこで、LFCでは、お客さまから頂いた相談料の1割を被災地支援のための義援金として日本赤十字社又は国境なき医師団に寄付する活動をしています(本年末まで)。これを機会にぜひ、相談にいらしてください。

### ●仕事面

NHK教育の春の新番組「資格☆はばたく」(水曜・夜12:00~12:30)で、LFCが取材を受け、私たち夫婦+レゴラス(?)が出演しました。この番組は、1ヶ月ごとに特定の資格の仕事や試験内容を紹介する番組です。第1回放送にFPの仕事紹介として、LFC事務

所が紹介されました。

その他、震災後ということもあり、メディア関係では、「節電対策のための家庭でできる暑さ対策」、「震災とお金」関係の取材を受けました。

### ●プライベート

昨年7月に我が家に新しい家族として来たレゴラスが1歳になりました。ようやくポメラニアンらしく、毛がフサフサしてきました。節電モードのわが家ですが、それでも元気に飛び回っています。

今年の前半はあまり遠出をする機会がなかったのですが、伊香保温泉に行ってみようと思ったのですが、いつも温泉まんじゅうを買っている「大黒屋本店」で、掘りごたつにまで上がり込んで、店のおばあちゃんと一緒にできたてのまんじゅうを食しました。餡にちょっと塩味が効いていて、美味しいですよ。

2011年の後半は、9月頃に高原でのんびり過ごせれば良いなと思っています。それ以外は、しっかり働きます。



あなたらしい“幸せな人生”を送ること。それが私たちの願いです。

### FPオフィス

### Life & Financial Clinic

〒185-0014

東京都国分寺市東恋ヶ窪3-9-40

電話 : 042-327-5575

FAX : 042-327-5575

メール : info@mylifeplan.net

発行・編集 平野 泰嗣・平野 直子



Web サイトもご覧ください

<http://www.mylifeplan.net>

### ●トライアル相談(1回 10,500円/90分)

まずはお気軽にご相談ください。

トライアル相談では、普段から感じているお金に対する不安、家計改善、資産運用のヒントなど、どんなことでも回答します。私たちLFCに相談することのメリット、安心感を感じて頂ければと思います。

⇒ その他の相談メニュー [http://www.mylifeplan.net/index\\_menu.html](http://www.mylifeplan.net/index_menu.html)



「30代夫婦が

働きながら4000万円の資産をつくる  
考え方・投資の仕方」

明日香出版社から好評発売中です！

●ワークシート・Excelシート

【ダウンロード特典付き】

### ●ホームページ特設コーナー

<http://www.mylifeplan.net/book1.html>

### ●メールマガジン「働きながら4000万円の資産をつくる」

毎月20日発行(無料)しています！

登録は、コチラから

<http://archive.mag2.com/0000290147/index.html>

